



明るくやさしさに溢れる石神井中

石神井中だより

練馬区立石神井中学校

校長 山根 浩孝

平成30年11月15日

第7号

「互いに高め合うこと」

校長 山根 浩孝

紅葉の季節となりました。体調管理にはくれぐれもお気を付けください。今月は、道徳授業地区公開講座、オリンピック・パラリンピック講演会や校外学習、そして、3年は進路面談や面接練習、I組は八校合同文化発表会が行われ、どの学年も各行事の準備やまとめをしているところです。

そして、11月14日からは期末考査も始まっています。日々の努力の成果が表れることを期待していますが、「継続は力なり」です。努力を続けることこそが大切なことと思っております。



先月は17日(水)に石神井中学校の二大行事といわれる合唱コンクールが行われました。今年の合唱コンクールは、実行委員会が夏休み前から準備を重ね、生徒が中心となって行いました。スローガンや練習内容について生徒達が話し合い、3年生が、1、2年生に合唱コンクールのよさを伝える取組も見られました。上級生が下級生に歌い方や留意点等具体的なアドバイスを行う時間、上級生の合唱を下級生に聴かせる時間等、上級生と下級生が交流する場面も数多く見られました。また、横看板、めくりプロ、プログラム、イメージイラスト等、アート部をはじめ、多くの係生徒も一生懸命準備をしてきていました。



石神井中学校のよいところは、上級生が下級生のよい目標になっているところです。先生に頼るだけでなく、生徒から生徒へ伝えられるアドバイスによって、学校全体の合唱の質を高めることができているのは、とても素晴らしいことです。反省アンケートの中にも、「来年は自分たちも先輩達のようにになりたい。先輩達が教えに来てくれてとても助かった。」等多くのメッセージがありました。

当日の練馬文化センター大ホールでの発表では、どの学年も素晴らしい合唱を披露し、I組の合唱、パートリーダーと吹奏楽部による合唱や演奏など、今年の合唱コンクールも、素晴らしい行事となりました。受付や誘導などの様々なところでご協力いただきましたPTA役員、委員の皆様、そして会場までお越しいただきました地域・保護者の皆様方、ありがとうございました。

10月23日(月)、新しく生徒会役員選挙により選ばれた生徒会長はじめ生徒会役員、後期委員会を担当する各委員の認証式を行いました。今まで、生徒会活動を推進し、学校を支えてくれた前期役員、前期各委員に感謝します。そして、積極的に後期、役員、委員を引き受けてくれた役員委員には、これからの生徒会運営をよろしく願います。

石神井中の生徒会は、今まで、多くの先輩たちの力で創り上げられ、発展してきました。あいさつ運動、意見箱、いじめ0運動、募金活動、地域交流等、さらには各委員会の特徴ある取組は、様々な課題と向き合い、少しずつ改善、努力して創り上げられたものだと思います。

今回、選出された役員、委員は、全校生徒の代表であり、様々な活動の企画や運営の中心となって働く人たちです。しかし、生徒全員の自覚と協力がなければ、よい学校にはなりません。よき伝統を受け継ぐとともに、そして今、将来の石神井中にとって、何が大切かを考え、みんなで、石神井中学校をよい学校にしてください。生徒一人一人が真剣に考え、話し合い、皆が成長できる生徒会、すべての生徒が安全で安心して学べる学校となることを願っています。

11月は「ふれあい月間」です。石神井中学校では、いじめアンケートやいじめ撲滅宣言、道徳の授業等、様々な取組を通して、いじめの未然防止や早期発見に努めています。ご家庭でも気になるようなことがあれば、すぐに学校へご連絡ください。石中生には、自分を大切にするとともに仲間を大切に、人の痛みのわかる人になってほしいと思います。